

発行:(一財)國學院大學院友会
<http://www.kokugakuin.or.jp>
 E-mail: inyuukai@kokugakuin.or.jp
 〒150-0011
 東京都渋谷区東四丁目12番8号
 電話 03(3400)7781(代)
 FAX 03(3400)7996
 郵便振替口座番号:00190-9-11208

國學院大學 院友會報

ご宿泊、ご婚礼、ご会合に、全国の
プリンスホテルをご利用ください。

◎お問合せ・ご予約は
グランドプリンスホテル高輪 **TEL.(03)3447-1111**

■高輪・品川 営業リーダー 加藤 昌史(112期) ■高輪・品川 フライダル 相原 美波(118期)
 ■高輪・品川 営業 鳥海ちはる(119期)

羊と胡

國學院大學神道文化学部教授
 嵐 義人 (あらしよしんど) / 77法・80修史・84博史



絵馬は 吉田茂穂会長
(鶴岡八幡宮司)の作品

今年の干支は乙未、ヒツジ歳である。ヒツジといえば個人的な思い出が二つある。小学生のとき、北海道に行ったところ教科書で日本にはいないと習った羊の群に出会った。また大学院修士のとき、坂本太郎先生の合宿で多胡碑の「羊」につき省文説を唱えられた先生の前で、別の可能性について発表した。現代と古代の違いはあるが、いずれにせよこれは羊が日本では珍しい貴重な動物であったことを示す。この新年、毛織物に包まれながら懐の広い坂本先生を偲び、後者についての卑見を述べてみたい。

群馬県に伝えられた七、八世紀の山ノ上碑(六八二)、多胡碑(七一)、金井沢碑(七二六)を上野三碑という。このうち多胡碑には、次の文字が刻まれている。

弁官符上野國片岡郡緑野郡廿良郡并三郡内三百戸郡成給羊
 成多胡郡和銅四年三月九日
 甲寅宣佐中弁正五位下多治比真人大政官一品穂積親王左大臣正二位石上尊右大臣正一位藤原尊

問題とされてきたのは二行目の下部「給羊」の部分である。この「羊」について、人名説、方位説、誤字説、省文説などが唱えられた。人名説は、土地に「羊大夫」伝承が伝えられており、碑の所在地の東南五キロのところから「羊子三」と刻んだ瓦が出土し、さらに郡司には國造等譜第の人が任じられる規定があった(選叙令郡司條)ことなどによる。方位は坤であれば南西となるが、「未」だけというのは想定しがたいものの南南西となる。どこから南南西なのか、山ノ上碑からは該当するが基準が指定しがたい。旧三郡としても国府からとしても当て嵌まらない。誤字説は「半」の誤刻と

する。「半ばを給して多胡郡と成す」との読みを優先した恣意的見解に過ぎない。筆者が多胡碑を初めて見たとき、砂岩から成る碑の下部には砂が積り、「羊」とも「半」とも判然としなかったが、その後立派な鞘堂ができてコンクリートで台座が固められると、「羊」以外に読むことは不可能となった。最後に省文説としては、小山田與清に「養」の、坂本先生に「祥」の省文とする説がある。坂本先生は「祥」を「さ」が「よきしるし」と読んでいた。以上の諸説と異なり、筆者が提示しようとしているのは、ヒツジそのものとする考えである。

梶島孝雄「資料日本動物史」も否定できぬとするが、瀧川政次郎先生の「増補新版 日本社会経済史論考」の新序にも、「下野の國に絨氈を産したからには、兩毛地方に羊が飼はれてゐたとならなければならない。そこで日本三古碑の一つである多胡碑に見える「羊」は、……生きた羊かも知れないといふ疑が起ってくる。」とある。しかし、同書に収められた「氈褥考」およびその補遺・附論では右の見解に拠りながらも人名説を展開しているのである。筆者も上野國に羊が畜されたとする瀧川説に依拠しつつも、生きた羊そのものを給わったことに因むと解したい。

職制律監臨之官條は、唐律では「……受猪羊供饋、坐贓論。……」とするが、養老律では「……強取猪鹿之類者、依強取監臨財物法乞取者、坐贓論。……」と改めている。羊はわが国では珍しい家畜であり、食べるものではない。織物のための羊毛を獲る家畜であろう。半島經由で齎されたとしても、原産地は中央アジアなり蒙古に求めるべきで、「胡人」の故地から将来され、帰化人によって東国で飼育されたのであろう。このように解しようなら、「羊」を給うことと「胡」多き郡と名づけることには強い結びつきが看取される。



嵐 義人 (あらしよしんど)
 昭和19年5月秋田市生まれ。國學院大學法學部卒業(77法・80修史・84博史)。國學院大學日本文化研究所研究員、文部省教科書調査官を経て平成17年より國學院大學神道文化学部教授。専攻は律令学、日本文化史。古事記学会・神道宗教学会理事。

プロ野球 ドラフト会議

田中投手がジャイアンツから、山下内野手がペイスターズから指名

昨年10月23日(木)に行われたプロ野球ドラフト会議で、田中大輝君(史4年)が読売巨人軍から4位で、山下幸輝君(経4年)が横浜DeNAベイスターズから5位で指名を受けた。田中君は、スリークォーターからキレのあるボールを投げ、コントロールの良い左投手。山下君は、堅実な守備と勝負強い打撃が魅力の内野手。國學院大學から、同時に2名の選手が指名を受けるのは初めてのことで、先輩たちに続いて、プロ野球界での活躍を期待したい。

公式ホームページリニューアルのお知らせ

日頃より、本会のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。去る12月1日から、「見やすさ」「使いやすさ」の向上を目指してホームページを全面リニューアル(一部プレオープン)いたしました。今後も、より一層タイムリーな情報の発信等、内容の充実を図って参りますので、宜しくお願ひ申し上げます。ホームページアドレス <http://www.kokugakuin.or.jp> (これまでと変更はありません)

一般財団法人 國學院大學院友会

あけまして
おめでとうございます
本年も宜しくお願ひ申し上げます

一般財団法人 國學院大學院友会
 会長 吉田 茂穂
 評議員、理事・監事、顧問・参与、職員一同

年頭にあたり

一般財団法人 國學院大學院友会 会長 吉田茂穂



新年おめでとうござい

院友のみなさまには、ご健勝で新しい年をお迎えに

平成二十七年。乙未の初春にあたり、皇室の弥栄と

年末年始の慌ただしい時間の中ではありませんが、

イギリスで考えたこと



相良 浩文 (さからひろふみ/82文・84修文) 福岡大学附属大濠中学校 高等学校校長

和食に続いて手漉和紙技術もユネスコの無形文化遺産に登録されるという

底した実用の世界、特に食生活と民家建築には味気なさを経験した。谷崎の指摘する日本のその

経済の時代、金銭を万能の基準とする世界は今、大きな価値の転換を迎えている

は教科横断(合教科型)の課題を言う。これは結果的には江戸の学習塾や藩校で用いられた方法への回帰に近い

院友の一人の教師として、伝統の思想やその精神と感性を学び続けたい。

新年に想う

新年を迎えて



花山院 弘匡 (かさのいんひろただ/91年) 春日大社宮司

あけましておめでとうございます。院友の皆様におかれましては、良い年となられますことをお祈り申し上げます。

新年を迎え今年の方角は「西南西」であります。皆様も万事に吉である恵方を少しお気にとめられ

未は、まだ枝が伸びきらない様子であり、実が熟していない未熟な状態の意味でもあり、今年はこのことから

お正月とは迎春ですが、春日は春の日を現わす美しい言葉です。本来「春の日のかすが」と「春の日」と「かすが」はセットで

朝拜においての東北の震災、紀伊半島の豪雨災害の復興を祈る大演奏しました。これからも全ての祭で国民の安寧を御加護頂くよう祈つてまいります。

には必ず起き上がるなど、転びの多かった方も今年には幸運を呼び込むにふさわしい歳であります。

私は奈良の春日大社に奉職しております。古くから大和は春日の神領ともいわれ、春日社は大和の総鎮守のような社であります。

その時は一家一門末々の親類までも連れ立って、賑やかに参詣するのだが、一門の数の多いほど外間がよいのである。」と奈良の正月を著しています。

お正月とは迎春ですが、春日は春の日を現わす美しい言葉です。本来「春の日のかすが」と「春の日」と「かすが」はセットで

朝拜においての東北の震災、紀伊半島の豪雨災害の復興を祈る大演奏しました。これからも全ての祭で国民の安寧を御加護頂くよう祈つてまいります。

- おめでとう
受章等のご連絡を頂きました。心よりお祝い申し上げます。
重要無形文化財保持者認定(人間国宝) ◆ ◆ ◆
☆本阿弥道弘氏(ほんあみみちひろ/70史)
☆みちひろ ◆ ◆ ◆
☆瑞宝中級章 ◆ ◆ ◆
☆小杉商一氏(こすぎしやういち/66文・69修文・73博文)
☆藤島秀隆氏(ふじしまひでたか/65文・78修文)
☆瑞宝小級章(春) ◆ ◆ ◆
☆故荒井勲氏(あらいいさお/78史)
☆旭日双光章 ◆ ◆ ◆
☆木村正則氏(きむらまさのり/63文)
☆瑞宝双光章 ◆ ◆ ◆
☆有賀伸興氏(ありがのぶおき/74史)
☆栗原 潔氏(くりはらきよし/75文)
☆瑞宝準光章(春) ◆ ◆ ◆
☆守谷 武氏(もりや たけし/74政)
☆文化庁長官表彰 ◆ ◆ ◆
☆岡田泰六氏(おかだたいりく/78史)
☆当 選 ◆ ◆ ◆
☆章加市長 ◆ ◆ ◆
☆田中和明氏(たなかかかずあき/79年)
☆富岡就任 ◆ ◆ ◆
☆霧島神宮(霧島市) ◆ ◆ ◆
☆慶光院利教氏(けいけいりん/よしかず/78年)
☆檀原神宮(檀原市) ◆ ◆ ◆
☆久保田昌孝氏(くぼたまさたか/82年専攻) ◆ ◆ ◆
☆東郷神社(茨城県) ◆ ◆ ◆
☆福田 勉氏(ふくだつとむ/83年2) ◆ ◆ ◆
☆愛媛県護国神社(松山市) ◆ ◆ ◆
☆額田照彦氏(ぬかたてるひこ/88年) ◆ ◆ ◆
☆結婚 ◆ ◆ ◆
☆次の方々が結婚されました。本会から当日、会長名の祝電を贈らせて頂きました。
☆末永くお幸せに! ◆ ◆ ◆
☆木野景子さん(11日) ◆ ◆ ◆
☆113博前文 ◆ ◆ ◆
☆院友の叙勲・褒章等表彰のごことについて本部まで情報をお寄せください。

謹 賀 新 年

Table with columns for school departments and names of staff members. Includes titles like 校長, 副校長, 学部長, etc., and names like 赤井 正, 針本 季, etc.

花は咲く



山名 隆弘 (やまな たかひろ / 72歳) 福島県浜通り支部長 大國魂神社 宮司

大震災・大津波・原発 危殆。この三つが一挙に 襲来してより、三年九ヶ 月。

あの年、四月二十日 (水) 午前十時すぎに院 友会の宇井克彦・中里陽 一の両氏が来市されて、 被災見舞金を届けてくだ さった。

その見舞金は、浪江町 請戸港に鎮座の若野神社 の鈴木澄夫宮司(71神研) の遺族にそのまま送らせ ていただいた。同宮司夫 妻と彌宜夫妻は、社殿も ろとも大津波によってさ らわれてしまったのであ る。小学生の二人の孫は、 浪江の学校に居て無事で あった。

小学生たちは命からが ら前方の大平山に逃げた が、次いで起こった南方 3kmの原発事故に追われ

て、小雪ふる阿武隈の山 地や中通りへと退避した。 壊滅した故郷を再見する こともなく、家族がまと まることもなく、七回も 八回も転居をくり返した。 あの年の四月は余震が ひどく、毎日連続してい たが、東北地方は桜が妖 しいほど美しく咲いた。

そうして被災の惨状を 報じるテレビに「花は咲 く」(作詞・岩井俊二、作 曲・菅野よう子)という 歌が流れ始めた。

「今はただ懐かしい あの人を思い出す」 「今はただ愛おしい あの日々を思い出す」 「花は花は花は咲く いくつか生まれる君に」 この歌は現在も震災関 連の報道にきまってる流 れるのである。

さて、若野神社に伝わ る「あんばさまの祭りの 日の田植踊り」(二月第三 日曜日)の少女たち十数 名もまた、あの日以来、 散り散りになってしまっ ていた。唄の師匠をつと める佐々木繁子さんは東 京江東区の避難先から、 福島民友新聞に投稿をし て、祭日のビデオや写真 の提供を願った。先の若 野神社宮司のことで、こ の投稿が結びついた。

この時から、当支部は 「田植踊り」の再興に乗 り出すことになったので ある。

私は県神社庁いわき支 部長の任にも就いており、 あの年の七月以来、「千 度大祓・放生の儀」を執 行している。母校神道文 化学部の有志(約四十五 人)は、この儀に奉仕す るため、やって来てくだ さる。昨年七月には、「田 植踊り」の奉納もあった から、学部生たちもその 姿を見したわけである。 地域の文化伝承を復興 し、継承することは神社 神道においても大きな使 命を持つと信ずるもので ある。

と、ここで、本年度の院 友会「被災地支援事業」 は、上記の要領で実施し たいと思う。

会場の相馬郡新地町は、 浜通り(南北七十km)の 最北端にあつて、大津波 によって町の東半部が壊 滅し、百名の犠牲者があ った。釣師浜という良港 があつて、活気ある町で あつた。

同町の神楽二団体も出 演するが、田植踊りと、 いわき海星高校にも参加 をお願いした。浜通り全 体のちよと中間地帯に、 原発事故に被災中の町が ある。現在も十万人の住 民が県内外に避難を余儀 なくされているのである。 その地域のあらゆる営み が断裂し頓挫し衰亡しつ つある。

およそ 一万人の 労働 者が毎 日夜、 原発の 廃炉作 業に従 事して いる。 それ が 現実で ある。

浜通 支部 が、田 植踊り

を中心とする伝承文化に 強い関心をもって支援を 続けているのは、そうす ることによってこの地方 の絶望を希望にかえて行 けるかもしれない、とい う思いがあつてのことであ る。

あの夏、八月二十一日 に、いわき市小名浜のア クアマリンふく しまで「海道の 歴史と文化に学 ぶ」と題して実 施した当支部の 事業に「田植踊 り」は勢揃いし た。その舞台を 見上げながら私 は、次のような 詩を作つてみた。

望郷 遙かなり請戸 の浜の、あんば の祭り。ハマ ギクも、咲くか、 乱れて。帰らたし、わ が家郷。潮騒の請戸の町 に。一門の墓は埋もる。 忍び堪ゆ、原発の火の 身もだえの、人身を腐 らかす。この闇をのり こえて、中打ちの太鼓を 打てば、よみがえる、 あんばの祭り。帰りに 請戸の浜に

あの日々を思い出す」 「今はただ懐かしい あの人を思い出す」 「花は花は花は咲く いくつか生まれる君に」

この歌は現在も震災関 連の報道にきまってる流 れるのである。

「田植踊り」の再興に乗 り出すことになったので ある。

新年に想う

常にお客さまの 立場で



美濃部 絢子 (みのべ あやこ / 122歳) 東日本旅客鉄道株式会社 新宿駅勤務

世界最大のターミナル 駅といわれる新宿駅に配 属となり、

もう少しで 一年が経と うとしてい ます。

私がJR に入社した いと思った きつかけは、 母校のある 渋谷駅の駅 員さんが笑 顔で接客し ているのを見 かけたか らです。就

職活動を始めた時には鉄 道会社にエントリーしよ うとは思っていませんが、 ことなので、どこにでも チャンスはあつたというこ とを意識して前向きに取 り組んでいくことが大切 であると考えることがあ った。貴重な体験であつ たと感じます。

新宿駅には一日中、沢 山のお客さまがいらつし ゃいます。私の担当して いる改札業務は主に、切 符やICカードの精算、 電車の発着する番線のご 案内、駅構内や駅周辺の ご案内です。私も新宿駅

に配属されたばかりの頃 は、どこに何があつたの か、まったくわからず不安 だったので、その時の気持 ちを忘れず、常にお客さ まの立場で考えるよう努 めています。また、でき るかぎり挨拶をするよう 心掛けています。「おは ようございます」の一言 がお客さまに伝わり、笑 顔で返してくださったり、 「ありがとうございます」と言っ ていただけた時には、少し でもお客さまの役に立て たかなと嬉しくなります。

新宿駅には外国からの お客さまも多くいらつし ゃいます。片言の英語と さを痛感しました。外国 語の習得や業務に関する 知識の習得などです。そ の日その日を過ごすこと で精一杯だった昨年から は、少し心にゆとりを持 てるようになったと感じ るので、今一度身を引き 締め、初心と感謝の気持 ちを忘れず、一日一日を 大切に過ごしていきたい と思っております。

歌仙絵の彼方に

著書 紹介



小説・侍大將遠藤喜右衛門 木村光伸

昨年NHK大河ドラ マは「軍師官兵衛」。 毎年いろいろな作品・ 人物が取り上げられてい ますが、特に人気のある のが戦国から安土桃山時 代の方です。信長・秀 吉・家康、あるいは信 玄・謙信などの天下をめぐ る興亡が人を引き付け るのでしよう。

必ず登場はするのですが、 いまは影の薄いのが浅 井久政・長政父子。一応 お市の方とその娘たちの 関係で出てくるのですが、 浅井氏自体の背景などに ついてはほとんど触れら れません。その浅井氏が 近江の情勢の中でいかに 興隆し、そして滅んでい ったかを、侍大將遠藤喜 右衛門の目から描いたの

がこの作品です。 多賀大社に残る三十六 歌仙屏風絵を寄進し、姉 川の戦いで奮戦が伝わ るというこの武將につい て、幼馴染の薄幸の美女 への秘められた恋など虚 実織り交せて描かれたこ の骨太の時代小説の著者 は多賀大社の宮司。地元 ならではの浅井家側から 見た視点が新鮮であり、 新しい戦国時代小説とし て広くおすすめしたい作 品です。

発行所 サンライズ出版 定価 一、七二八円 平成二十六年三月刊 喜多山健二(80史)記

職員人事 平成二十六年九月 一日付で、本会事務 局職員の見任人事が ありました。昇任は 左記のとおりです。 (一)内は旧役職。

謹 賀 新 年

國學院大學部課長会

- 事務局長 白川 博一
神道研修事務部長 大野 靖仁
事務部長 武智 浩二
総務部長 長谷川 顕子
総務部長 橋本 憲市郎
総務部長 澤田 康紀
総務部長 安達 裕巳
総務部長 田中 耕司
総務部長 山口 裕司
総務部長 山崎 正彦
総務部長 中村 大介
総務部長 篠田 隆行
総務部長 仙北 穂高
総務部長 山口 輝幸
総務部長 原田 佳昌
総務部長 前田 浩司
総務部長 石田 智子
総務部長 小所 俊哉
総務部長 小林 博毅
総務部長 木村 都
総務部長 石山 昭彦
総務部長 古山 悟由
総務部長 及川 弘行
総務部長 堀内 久男
総務部長 杉本 幸雄
総務部長 後藤 幸隆
総務部長 澤井 幸隆
総務部長 柴田 克之
総務部長 島村 昌利
総務部長 人見 昌利
総務部長 北澤 薫

岩手県神社庁 庁長 藤原 隆磨 〒020-0872 盛岡市八幡町13-2 電話 019-622-8648 F A X 019-653-6092	青森県神社庁 庁長 島浦 千晴 〒038-0024 青森市浪館前田1-2-1 電話 017-781-9461	北海道神社庁 庁長 吉田 源彦 副庁長 山田 一孝 副庁長 中村憲由樹 〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘474-35 電話 011-621-0769	神宮司庁 神宮大宮司 鷹司 尚武 神宮少宮司 高城 治延 〒516-0023 伊勢市宇治館町1 電話 0596-24-1111	神社本庁 統理 北白川道久 総長 田中 恆清 副総長 小串 和夫 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-1-2 電話 03-3379-8011
千葉県神社庁 庁長 杉山 林繼 副庁長 高橋 義人 副庁長 岡嶋 千暁 〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町219 電話 043-261-3293	埼玉県神社庁 庁長 中山 高嶺 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-643-3542	栃木県神社庁 庁長 石原 敬士 〒320-0015 宇都宮市八幡台14-24 電話 028-625-2011 F A X 028-624-3217	福島県神社庁 庁長 丹治 正博 〒963-8034 郡山市島1丁目10-20 電話 024-925-0457	山形県神社庁 庁長 渋谷 宣寛 〒990-0053 山形市薬師町2-8-75 電話 023-622-4509 F A X 023-624-5660
石川県神社庁 庁長 加藤 治樹 副庁長 寶達 俊臣 副庁長 北村 嘉章 〒920-0811 金沢市小坂町西44	富山県神社庁 庁長 尾崎 定輝 〒930-0088 富山市諏訪川原1-10-21 電話 076-432-7390 F A X 076-442-7999	新潟県神社庁 庁長 小林 直毅 〒955-0042 三条市下坂井14番21号 電話 0256-32-0613	神奈川県神社庁 庁長 吉田 茂穂 〒235-0019 横浜市磯子区磯子台20-1 電話 045-761-6387	東京都神社庁 庁長 松山 文彦 〒107-0051 港区元赤坂2丁目2番3号 電話 03-3404-6525 F A X 03-3404-6547
三重県神社庁 庁長 石上 紀男 〒514-0005 津市鳥居町210-2 電話 059-226-8042 F A X 059-223-0892	静岡県神社庁 庁長 櫻井 豊彦 〒420-0821 静岡市葵区袖木250-2 電話 054-261-9030	長野県神社庁 庁長 藤井 茂信 〒380-0801 長野市箱清水1-6-1 電話 026-232-3355	山梨県神社庁 庁長 根津 泰昇 〒400-0013 甲府市岩窪町572 電話 055-288-0003	福井県神社庁 庁長 宮川 脩 〒918-8014 福井市花堂中1-3-28 電話 0776-34-5846
岡山県神社庁 庁長 河本 貞紀 副庁長 牧 博嗣 副庁長 藤山知之進 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 電話 086-270-2122 (代)	島根県神社庁 庁長 青木 義興 副庁長 角河 和幸 副庁長 忌部 正孝 島根県出雲市大社町	和歌山県神社庁 庁長 西川 秀紀 〒641-0022 和歌山市和歌浦南3丁目4番10号 電話 073-446-5611	兵庫県神社庁 庁長 藤原 正克 副庁長 西井 璋 副庁長 泉 和慶 〒650-0015 神戸市中央区多聞通3-1-1 電話 078-341-1145	大阪府神社庁 庁長 寺井 種伯 副庁長 渡邊 紘一 副庁長 岡市 正規 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目渡辺6号 電話 06-6245-5741
宮崎県神社庁 庁長 杉田 秀清 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番2号 電話 0985-25-1775	熊本県神社庁 庁長 宮崎 國忠 〒860-0005 熊本市中央区宮内3番1号 電話 096-322-7474 F A X 096-322-6220	長崎県神社庁 庁長 池田 剛康 〒850-0006 長崎市上西山町19番3号 電話 095-827-5689 F A X 095-823-2801	佐賀県神社庁 庁長 鍋島 朝倫 〒840-0843 佐賀市川原町8-27 電話 0952-23-2616 F A X 0952-23-2606	福岡県神社庁 庁長 西高辻 信良 〒812-0055 福岡市東区東浜1-5-88 電話 092-641-3505
樽前山神社 宮司 永井 承邦 〒053-0035 苫小牧市高丘6-49 電話 0144-36-6661	新琴似神社 宮司 田湯 直宜 〒001-0908 札幌市北区新琴似八条3丁目1番6号 電話(代) 011-761-0631 http://www.shinkotonijinja.or.jp/	亀田八幡宮 宮司 藤山 豊昭 〒040-0083 函館市八幡町3番2号 電話 0138-41-5467	帯廣神社 宮司 大野 清徳 〒080-0803 帯広市東三条南2-1 電話 0155-23-3955	沖縄県神社庁 庁長 渡慶次 馨 副庁長 新垣 義夫 〒900-0031 那覇市若狭1-25-11 電話 098-868-3697
陸中一宮 駒形神社 宮司 山下 明 〒023-0857 岩手県奥州市水沢区中上野町1-83 電話 0197-23-2851 F A X 0197-23-2847	高山稲荷神社 宮司 工藤 均 〒038-3305 青森県つがる市牛湯町 電話 0173-56-2015	北海道神宮 名誉宮司 原口 法義 宮司 吉田 源彦 〒064-8505 札幌市中央区宮ヶ丘474	富良野神社 宮司 西川 邦秀 〒076-0032 富良野市若松町17-6 電話 0167-22-2731 F A X 0167-23-6640	函館八幡宮 宮司代務者 中村憲由樹 〒040-0046 函館市谷地頭町2番5号 電話 0138-22-3636
秋田県護国神社 名誉宮司 面山 千岳 宮司 面山 浩康 〒011-0939 秋田市寺内大畑5-3 電話 018-845-0337 F A X 018-845-3341	宮城縣護国神社 宮司 田中 光彦 権宮司 田中於菟彦 〒980-0862 仙台市青葉区青葉城址天守台 電話 022-223-7255 F A X 022-223-7269	竹駒神社 宮司 千葉 博男 〒989-2443 宮城県岩沼市稲荷町1番1号 電話 0223-22-2101 F A X 0223-22-3879	志波彦神社 鹽竈神社 宮司 鍵 三夫 〒985-8510 宮城県塩竈市一森山1番1号 電話 022-367-1611	奥州総鎮護 志和稲荷神社 宮司 鱒沢 克美 〒028-3442 岩手県紫波郡紫波町升沢字前平17 電話 019-673-7608 F A X 019-673-7625
心清水八幡神社 宮司 戸内 康雅 禰宜 戸内 英景 〒969-6584 福島県河沼郡会津坂下町塔寺 電話 0242-83-2553	開成山大神宮 宮司 宮本 孝 〒963-8851 福島県郡山市開成3-1-38 電話 024-932-1521 F A X 024-939-4410	岩代國一之宮 伊佐須美神社 宮司 轡田 勝暎 〒969-6263 福島県大沼郡会津美里町字宮林甲4377 電話 0242-54-5050 (代)	出羽三山神社 名誉宮司 緒方 久信 宮司 宮野 直生 〒997-0292 山形県鶴岡市羽黒町手向7 電話 0235-62-2355 (代)	太平山頂上鎮座 太平山三吉神社総本宮 宮司 田村 泰教 〒010-0041 秋田市広面字赤沼3-2 電話 018-834-3443 F A X 018-834-3444
鹿島神宮 名誉宮司 上野 貞文 宮司 鹿島 則良 権宮司 東 俊二郎 〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中2306-1 電話 0299-82-1209 (代) F A X 0299-82-1625	笠間稲荷神社 笠間稲荷美術館 宮司 塙 東男 館長 塙 東男 〒309-1611 笠間市笠間1 電話 0296-73-0001 (代) F A X 0296-73-0002	大杉神社 宮司 市川 久仁守 〒300-0621 茨城県稲敷市阿波958 電話 029-894-2613 F A X 029-894-3636 http://www.oosugi-jinja.or.jp	大洗磯前神社 大洗海洋博物館 宮司 飯塚 重 〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 電話 029-267-2637 F A X 029-267-7557	さくら山 しあわせの社 茨城県護国神社 宮司 佐藤 昭典 〒310-0912 水戸市見川1-2-1 電話 029-241-4781 http://www.sakura559.net/
前橋 東照宮 宮司 瀬尾 茂 〒371-0026 前橋市大手町3-13-19 電話 027-231-2031 F A X 027-231-2034 http://www.toshogu.net	日光二荒山神社 宮司 吉田 健彦 本社 〒321-1431 日光市山内2307 電話 0288-54-0535 中宮祠 〒321-1661 日光市中宮祠2484 電話 0288-55-0017 http://nikko.futarasan.jp	日光東照宮 宮司 稲葉 久雄 〒321-1431 日光市山内2301 電話 0288-54-0560 F A X 0288-54-0061	宇都宮二荒山神社 宮司 助川 通泰 〒320-0026 宇都宮市馬場通り1丁目1番1号 電話 028-622-5271	常磐神社 名誉宮司 武浪 嗣一 宮司 寺内 義興 〒310-0033 水戸市常磐町1丁目3番1号 電話 029-221-0748 http://komonsan.jp/

応援します！ 学術・スポーツ振興資金

燃え上がる 母校愛



長崎 秀一 (ながさき しゅういち/88歳) 足立区立江北小学校 副校長

陸上競技部の第九十一回箱根駅伝への出場、おめでとうございます。さらに予選会を第二位という好成绩での通過、日頃の鍛錬の成果とお慶び申し上げます。本戦でのご活躍をお祈りいたします。

がんばれ母校！ がんばろう院友！

え上がる時なのです。戸塚の中継地点でウォーミングアップしている國學院大の選手を見かけることがあります。車で通りすぎながらですが、心からの声援を送らせてもらっています。

Table with 2 columns: 年度, 金額. Title: 学術・スポーツ振興資金累計表 (平成26年5月1日～10月31日)

「初心」を忘れず 院友の皆様、あけましておめでとうございます。日頃より、院友の皆様方には多大なるご支援、ご声援をたまりません。

勝(八十一kg級)しました。今年度チームの主将に就任し、自身の日本一、またチームとして初の全日本制覇にむけ、更なる飛躍を目指しています。

1 アップに力を注いでいます。今年は更にチームの歴史を塗り替える活躍ができますよう、しっかりと準備して参りたいと思います。



全日本体別選権大会で準優勝の糸井君(左から2人目)



院友の皆様へ「学術・スポーツ振興資金」学術部門 デジタルライブラリーへの支援につつま

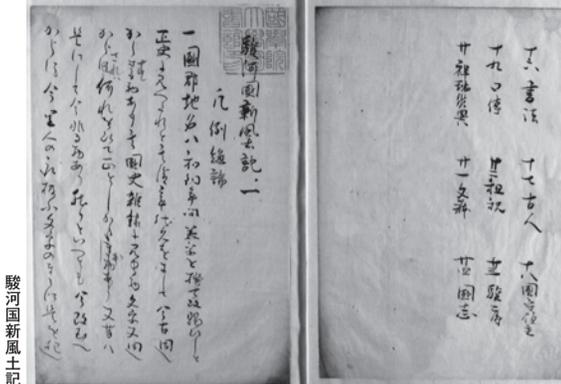
して、大変お世話になっております。デジタルライブラリーの中に「駿河国新風土記」があります。著者は平田篤胤門の国学者、新庄道雄(一七七六～一八三五)です。

「前略」富士山ノ高サ直立二十六町トイヘルハイツコニテハカリシニ昔ハ其術モクハシカラ子ハ

日本一にむけて 平成二十六年十月二十三日に秋季リーグ戦の全日程が終了いたしました。

必ず東都制覇、大学日本一を達成してくれることを願っています。院友の皆様のご声援やご支援は私たちの力になります。

主務 竹内 岳(経年四年)記



駿河国新風土記 「富士山」

「前略」文政十二己丑年九月、此辺のすべて地理見賜とて、荷田宿禰天則君の御供にてまかりしが(後略)(巻二十三 富士山 上)

歴史資料を駆使して、駿河国(現、静岡県)の地誌を記述しながら、自らその地に赴いて最新の情報を加味しています。

このリーグ戦の中では三年生以下の活躍もありました。スタメンで出場している選手もおり、投手も先発やリリーフでリーグ戦のマウンドを経験しました。

Table with 10 columns: 順位, 駒澤大, 國學院大, 中央大, 亜細亜大, 拓殖大, 青学大, 勝数, 負数, 点数, 勝率, 勝点

國學院大學院友会 第60回記念ゴルフコンペ開催のご案内

いよいよ60回目の記念コンペを迎えます。これまで節目のコンペでは、驚きの賞品もご用意しておりました。はたして今回は?!



謹賀新年

- 国學院大學 北海道短期大学部 担当理事 蛭原 弘
国學院大學 校長 田村 弘
国學院大學 学文学科長 山寺 三知
国學院大學 総合教養学科長 太田 信二
国學院大學 幼児児童教育学科長 草薙 惠美子
国學院大學 センター長 月岡 道晴
国學院大學 事務局長 平野 富康
国學院高等學校 校長 津田 栄
国學院大學久我山中学校 校長 川福 基之
国學院大學久我山高等学校 学事顧問 今井 寛人
国學院大學附属幼稚園 園長 森野 ゆかり
国學院幼稚園 園長 江口 幸子

<p>三峯神社</p> <p>宮司 中山 高嶺</p> <p>〒369-1902 埼玉県秩父市三峰298-1 電話 0494-55-0241 FAX 0494-55-0328 http://www.mitsuminejinja.or.jp/</p>	<p>延喜式内社 調神社</p> <p>宮司 吉田 正臣</p> <p>〒330-0064 さいたま市浦和区岸町3-17-25 電話 048-822-2254 (9:00~16:00まで)</p>	<p>秩父神社</p> <p>宮司 蘭田 稔</p> <p>〒368-0041 秩父市番場町1-1 電話 0494-22-0262 FAX 0494-24-5596</p>	<p>瀧宮神社</p> <p>宮司 渡邊 俊雄</p> <p>〒366-0824 埼玉県深谷市西島5-6-1 電話 048-571-0741 FAX 048-578-7406</p>	<p>高麗神社</p> <p>宮司 高麗 文康</p> <p>〒350-1243 埼玉県日高市新堀833 電話 042-989-1403 FAX 042-985-2794</p>
<p>浅草神社</p> <p>宮司 矢野 泰良</p> <p>〒111-0032 台東区浅草2-3-1 電話 03-3844-1575</p>	<p>上總國一之宮 式内名神大社 玉前神社</p> <p>宮司 栗原 崇次</p> <p>http://tamasaki.org</p>	<p>香取神宮</p> <p>宮司 高橋 昭二</p> <p>〒287-0017 千葉県香取市香取1697 電話 0478-57-3211 (代)</p>	<p>安房神社</p> <p>宮司 岡嶋 千暁</p> <p>〒294-0233 千葉県館山市大神宮589 電話 0470-28-0034 FAX 0470-28-0438</p>	<p>鷲宮神社</p> <p>宮司 相澤 力</p> <p>〒340-0217 埼玉県久喜市鷲宮1-6-1 電話 0480-58-0434 FAX 0480-59-2021</p>
<p>小野照崎神社</p> <p>宮司 小野 貴嗣</p> <p>〒110-0004 台東区下谷2-13-14 電話 03-3872-5514 FAX 03-3872-4238</p>	<p>大宮八幡宮</p> <p>宮司 鎌田 紀彦</p> <p>〒168-8570 杉並区大宮2-3-1 電話 03-3311-0105 FAX 03-3318-6100 http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp</p>	<p>武蔵総社 大國魂神社</p> <p>宮司 猿渡 昌盛</p> <p>〒183-0023 府中市宮町3-1 電話 042-362-2130</p>	<p>井草八幡宮</p> <p>宮司 宮崎 昌文</p> <p>〒167-0041 東京都杉並区せんぶくじ1-33-1 電話 03-3399-8133</p>	<p>穴八幡宮</p> <p>宮司 齋藤 成彰</p> <p>〒162-0051 新宿区西早稲田2-1-11 電話 03-3203-7212</p>
<p>水天宮</p> <p>宮司 有馬 頼央</p> <p>〒103-0007 中央区日本橋浜町2-30-3 電話 03-3666-7195 FAX 03-3808-1158</p>	<p>榊神社</p> <p>宮司 安川 忠正</p> <p>〒111-0051 台東区蔵前1-4-3 電話 03-3851-1514</p>	<p>子安神社</p> <p>宮司 松宮 兼房</p> <p>〒192-0046 八王子市明神町4-10-3 電話 042-642-2551 FAX 042-645-9817</p>	<p>神田神社</p> <p>宮司 大鳥居 信史</p> <p>〒101-0021 千代田区外神田2-16-2 電話 03-3254-0753 FAX 03-3255-8875</p>	<p>亀戸 香取神社</p> <p>宮司 香取 邦彦 禰 宜 香取 正彦</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸3-57-22 電話 03-3684-2813</p>
<p>花園神社</p> <p>宮司 片山 文彦</p> <p>〒160-0022 新宿区新宿5-17-3 電話 03-3209-5265 FAX 03-3209-5645</p>	<p>中目黒八幡神社</p> <p>宮司 岡部 定征</p> <p>〒153-0061 東京都目黒区中目黒3-10-5 電話 03-3712-5507 FAX 03-3710-5907</p>	<p>富岡八幡宮</p> <p>富岡 長子</p> <p>〒135-0047 江東区富岡1-20-3 電話 03-3642-1315 FAX 03-3642-5580</p>	<p>東郷神社</p> <p>宮司 福田 勉</p> <p>〒150-0001 渋谷区神宮前1-5-3 電話 03-3403-3591 FAX 03-3403-8205</p>	<p>東京大神宮</p> <p>宮司 松山 文彦</p> <p>〒102-0071 千代田区富士見2-4-1 電話 03-3262-3566</p>
<p>靖國神社</p> <p>宮司 徳川 康久 権宮司 山口 建史 権宮司 小方 孝次</p> <p>〒102-8246 千代田区九段北3丁目1番1号 電話 03-3261-8326 FAX 03-3261-0081</p>	<p>明治神宮</p> <p>名誉宮司 外山 勝志 宮司 中島精太郎 権宮司 宮崎 重廣 権宮司 男成 洋三 権宮司 網谷 道弘</p> <p>〒151-8557 渋谷区代々木神園町1-1 電話 03-3379-5511</p>	<p>氷川神社</p> <p>宮司 山口 直英</p> <p>〒141-0031 品川区西五反田5-6-3 電話 03-3491-6863 FAX 03-3493-2435</p>	<p>東伏見稻荷神社</p> <p>宮司 葦津 元成</p> <p>〒202-0021 西東京市東伏見1-5-38 電話 042-461-1125 (代)</p>	<p>日枝神社</p> <p>宮司 宮西 惟道</p> <p>〒100-0014 千代田区永田町2-10-5 電話 03-3581-2471</p>
<p>鎌倉宮</p> <p>宮司 長岡 仁志</p> <p>〒248-0002 鎌倉市二階堂154 電話 0467-22-0318 FAX 0467-22-3755 http://www.kamakuraguu.jp</p>	<p>江島神社</p> <p>宮司 相原 罔彦</p> <p>〒251-0036 藤沢市江ノ島2-3-8 電話 0466-22-4020</p>	<p>伊勢山皇大神宮</p> <p>宮司 池田 正宏</p> <p>〒220-0031 横浜市西区宮崎町64番地 電話 045-241-1122 FAX 045-242-7766</p>	<p>湯島天満宮</p> <p>宮司 押見 守康</p> <p>〒113-0034 文京区湯島3-30-1 電話 03-3836-0753 FAX 03-3836-0694</p>	<p>谷保天満宮</p> <p>宮司 津戸 最</p> <p>〒186-0011 東京都国立市谷保5209 電話 042-576-5123 FAX 042-576-5124</p>
<p>箱根神社</p> <p>名誉宮司 濱田 進 宮司 小澤 修二</p> <p>〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根80-1 電話 0460-83-7123 (代) FAX 0460-83-6669</p>	<p>鶴岡八幡宮</p> <p>宮司 吉田 茂穂</p> <p>〒248-8588 鎌倉市雪ノ下2-1-31 電話 0467-22-0315 URL http://www.hachimangu.or.jp</p>	<p>武相総鎮護 座間神社</p> <p>宮司 山本 孝司 禰 宜 山本 俊昭 (神奈川県議会議員)</p> <p>座間市座間1-3437</p>	<p>相模國一之宮 寒川神社</p> <p>宮司 利根 康教</p> <p>〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916 電話 0467-75-0004</p>	<p>相州土甘総社 皇大神宮</p> <p>宮司 関根 正統</p> <p>〒251-0021 藤沢市鶴沼神明2-11-5 電話 0466-24-5590 http://www.koudaijinguu.com</p>
<p>新潟総鎮守 白山神社</p> <p>宮司 小林 敬直</p> <p>〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町1-1 電話 025-228-2963</p>	<p>新潟縣護國神社</p> <p>宮司 齋藤 伸雄</p> <p>〒951-8101 新潟市中央区西船見町 電話 025-229-4345 FAX 025-229-0554</p>	<p>悠久山 蒼柴神社</p> <p>宮司 永井 康雄</p> <p>〒940-0827 新潟県長岡市悠久山 電話 0258-33-1769 FAX 0258-34-4838</p>	<p>師岡熊野神社</p> <p>宮司 石川 正人</p> <p>〒222-0002 横浜市港北区師岡町1137 電話 045-531-0150 FAX 045-541-9356 URL http://www.kumanojinja.or.jp</p>	<p>平塚八幡宮</p> <p>宮司 宅野 順彦</p> <p>〒254-0041 平塚市浅間町1-6 電話 0463-23-3315</p>
<p>伏木神社</p> <p>宮司 尾崎 定輝</p> <p>〒933-0111 高岡市伏木東一宮17-2 電話 0766-44-0236</p>	<p>日枝神社</p> <p>宮司 平尾 旨明</p> <p>〒930-0064 富山市山王町4番12号 電話 076-421-6318</p>	<p>富山縣護國神社</p> <p>宮司 梅野 守雄</p> <p>〒930-0077 富山市磯部町1-1 電話 076-421-6957 FAX 076-421-6965</p>	<p>越中一宮 高瀬神社</p> <p>宮司 藤井 秀弘 権宮司 藤井 秀嗣</p> <p>〒932-0252 南砺市高瀬291 電話 0763-82-0932 http://www.takase.or.jp/</p>	<p>彌彦神社</p> <p>宮司 永田 忠興</p> <p>〒959-0393 新潟県西蒲原郡弥彦村 電話 0256-94-2001 (代) FAX 0256-94-4552</p>
<p>甲斐國あさま一宮 浅間神社</p> <p>宮司 古屋 真弘</p> <p>〒405-0056 山梨県笛吹市一宮町一ノ宮1684 電話 0553-47-0900 FAX 0553-47-3963</p>	<p>文武両道 新田義貞公之大宮 藤島神社</p> <p>宮司代務者 新田 義和</p> <p>〒918-8003 福井市毛矢3-8-21 電話 0776-35-7010 FAX 0776-35-7012</p>	<p>氣比神宮</p> <p>宮司 福本 祐喜</p> <p>〒914-0075 福井県敦賀市曙町11-68 電話 0770-22-0794</p>	<p>平成29年 白山開山1300年 白山比咩神社</p> <p>名誉宮司 山崎 宗弘 宮司 村山 和臣</p> <p>〒920-2114 石川県白山市三宮町 http://www.shirayama.or.jp</p>	<p>尾山神社</p> <p>宮司 加藤 治樹</p> <p>〒920-0918 石川県金沢市尾山町11番1号 電話 076-231-7210 FAX 076-231-4685</p>
<p>諏訪大社</p> <p>上社本宮 〒392-0015 諏訪市中洲宮山1番地 電話 0266-52-1919 下社秋宮 〒393-0052 諏訪郡下諏訪町5828番地 電話 0266-27-8035</p>	<p>生島足島神社</p> <p>宮司 武藤 美登</p> <p>〒386-1211 上田市下之郷中池 電話 0268-38-2755 FAX 0268-39-1515</p>	<p>山梨縣護國神社</p> <p>宮司 羽中田 進</p> <p>〒400-0013 甲府市岩窪町608番地 電話 055-252-6371 FAX 055-254-4887</p>	<p>富士山小御嶽神社</p> <p>宮司 小佐野 正史</p> <p>〒403-0005 富士吉田市上吉田小御岳下(富士山五合目) 電話 0555-72-1475 FAX 0555-22-0965</p>	<p>北口本宮富士浅間神社</p> <p>宮司 上文司 厚</p> <p>〒403-0005 富士吉田市上吉田5558 電話 0555-22-0221 FAX 0555-24-5221</p>

会費等納入者芳名

：ありがとうございます！
(ごぞいしました！)
平成二十六年五月一日
平成二十六年十月三十一日
納入分まで。

皆さまからお納めいただいた会費寄付金は同窓会事業や左記公益事業等に（一般財団法人への移行により）行い公益目的の事業に使用致します。
★公益事業
・ 育成事業（学生等の支援）
・ 講座講演会事業
・ 会館施設の提供事業

（年度会費）
お願ひ致します。

Table with 4 columns: 北海道支部, 東北支部, 関東支部, 関西支部. Lists names and amounts for various regional branches.

「会費について」

平成24年10月1日付けで一般財団法人國學院大學院友会となりましたが、会費制度にしましては従来とかわりません。
まず「十年会費」の件です。平成8年の理事会において、会の財政安定を図るために、寄附行為（当時）の変更を行い「終身会費」を廃止し、「十年会費」への名称変更を決定致しました。
既に「終身会費」として納入された方は、今後請求されることはないし、「終身会費廃止」は約束違反である、と思われるのは当然のことですが、院友数の増加と高齢化の時代を見据え、「年度会費」とあるいは「十年会費」への切り替えに、ご理解とご協力を願ひしよう、ということがこれまでの主旨でございます。引き続きより分かり易く、より丁寧に会員の皆様へ十年会費への切り替えをお願いして参りたいと思ひます。何卒ご理解とご協力を願ひ申し上げます。
既に「終身会費」として納入された方には、納入年から10年を経過しますと、会報に「ご協力のお願い」を同封させていただきます。
また99期以降の学部をご卒業の方は、卒業時に代理徴収（終身会費または十年会費）させて頂いております。
平成26年度分の会費につきましては、今から10年前の112期にご卒業をされた方、またはそれ以前のご卒業の方で会費が未納の方に、「ご協力のお願い」が同封されます。同封の依頼状が「維持寄付金、学術・スポーツ振興資金のお願い」（水色の依頼状）から「ご協力のお願ひ」に変わった時期が、「十年会費」の有効期限の終了になります。
会費の依頼状・振込用紙は、院友会報に同封致します。是非皆さまのご協力をたまりませよ願ひ申し上げます。
「年度会費は3,000円、十年会費は20,000円です。」
次に「維持寄付金」です。これは平成11年までの「維持会費」を会費との誤解を招かないために改称したものです。1口1万円です。
一般財団法人國學院大學院友会では、「一般財団法人國學院大學院友会運営規程」第4条に、会費を定めております。（第351号に掲載）未納の方は、是非会費のご納入をお願い致します。（過年度分の会費は結構でございます）

皆さまのご理解とご協力を重ねてお願い致します。

Table with 4 columns: 東北支部, 関東支部, 関西支部, 北海道支部. Lists names and amounts for various regional branches.

Table with 4 columns: 維持寄付金, 学術・スポーツ振興資金, 基本財産寄付金. Lists names and amounts for special funds.

Table with 3 columns: 年度会費, 十年会費, 維持寄付金. Summary table of fee statistics.

院友からのひとこと
振込用紙伝言板
振込用紙の通信欄に書かれています。
振込用紙の通信欄に書かれています。
振込用紙の通信欄に書かれています。

秋葉山本宮 秋葉神社 宮司 河村 基夫 〒437-0693 静岡県浜松市天竜区春野町 領家秋葉山 電話 053-985-0111 (上社) 053-985-0005 (下社)	岐阜護國神社 宮司 宇都宮 幸嗣 岐阜市御手洗393 電話 058-264-4321 URL http://www.gifu-gokoku.com	伊奈波神社 宮司 東 道人 〒500-8043 岐阜市伊奈波通1-1 電話 058-262-5151 http://www.inabasan.com	御嶽神社 宮司 武居 哲也 〒397-0101 長野県木曾郡木曾町 三岳黒沢 電話 0264-46-3076	武水別神社 宮司 堀内 潔人 〒387-0023 長野県千曲市八幡 電話 026-272-1144
三嶋大社 宮司 矢田部 正巳 〒411-0035 三島市大宮町2-1-5 電話 055-975-0172	富知六所浅間神社 宮司 櫻井 豊彦 〒417-0073 静岡県富士市浅間本町5-1 電話 0545-52-1270 F A X 0545-52-8972	静岡浅間神社 宮司 櫻井 豊彦 〒420-0868 静岡市葵区宮ヶ崎町102-1 電話 054-245-1820 F A X 054-248-0360	久能山東照宮 宮司 落合 偉洲 〒422-8011 静岡市駿河区根古屋390 電話 054-237-2438	熱海 來宮神社 宮司 雨宮 盛克 〒413-0034 熱海市西山町43番1号 電話 0557-82-2241 F A X 0557-82-2242
二見興玉神社 宮司 片岡 昭雄 外職員一同 〒519-0602 三重県伊勢市二見町江575 電話 0596-43-2020 F A X 0596-43-2015	多度大社 宮司 塚原 徳生 〒511-0106 三重県桑名市多度町 多度1681 電話 0594-48-2037 F A X 0594-48-5381	猿田彦神社 宮司 宇治土公 貞尚 〒516-0026 伊勢市宇治浦田2丁目1-10 電話 0596-22-2554 (代) F A X 0596-28-9955	尾張國一之宮 真清田神社 宮司 辰 守弘 〒491-0043 愛知県一宮市真清田1丁目 2番1号 電話 0586-73-5196 F A X 0586-73-5198	砥鹿神社 宮司 香取 武 〒441-1231 愛知県豊川市一宮町 西垣内2 電話 0533-93-2001
伏見稻荷大社 宮司 中村 陽 〒612-0882 京都市伏見区深草 藪之内町68 電話 075-641-7331	北野天満宮 宮司 橋 重十九 〒602-8386 京都市上京区馬喰町 電話 075-461-0005	賀茂御祖神社 宮司 新木 直人 権宮司 宮 陽 〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 電話 075-781-0010 F A X 075-781-4722	賀茂別雷神社(上賀茂神社) 宮司 田中 安比呂 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山339 電話 075-781-0011 F A X 075-702-6618	石清水八幡宮 宮司 田中 恆清 権宮司 田中 朋清 〒614-8588 京都府八幡市八幡高坊30 電話 075-981-3001 (代)
四條畷神社 宮司 寺井 種伯 〒575-0021 四條畷市南野2-18-1 電話 072-876-0044	大鳥大社 宮司 山本 博之 〒593-8328 堺市西区鳳北町1-1-2 電話 072-262-0040 F A X 072-261-1192	大阪天満宮 宮司 寺井 種伯 権宮司 寺井 種治 〒530-0041 大阪府北区天神橋2-1-8 電話 06-6353-0025	吉田神社 宮司 澤井 隆男 〒606-8311 京都市左京区 吉田神楽岡町30 電話 075-771-3788	平安神宮 宮司 九條 道弘 〒606-8341 京都市左京区岡崎西天王町 電話 075-761-0221
石上神宮 宮司 森 正光 〒632-0014 奈良県天理市布留町384 電話 0743-62-0900 F A X 0743-63-3124 http://www.isonokami.jp	湊川神社 宮司 垣田 宗彦 権宮司 牧瀬 修 〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目1-1 電話 078-371-0001 F A X 078-371-1920	廣田神社 名誉宮司 中山 隆 宮司 西井 璋 〒662-0867 西宮市大社町7番7号 電話 0798-74-3489 F A X 0798-74-3725	生田神社 名誉宮司 加藤 隆久 宮司 六車 勝昭 〒650-0011 神戸市中央区下山手通1-2-1 電話 078-321-3851 F A X 078-321-3853	服部天神宮 宮司 加藤 芳哉 〒561-0851 豊中市服部元町1丁目 2番17号 電話 06-6862-5022 F A X 06-6862-4241
熊野本宮大社 宮司 九鬼 家隆 〒647-1731 和歌山県田辺市本宮町 本宮1110 電話 0735-42-0009 F A X 0735-42-0753	談山神社 宮司 長岡 千尋 〒633-0032 奈良県桜井市多武峰319 電話 0744-49-0001 F A X 0744-49-0236	春日大社 宮司 花山院 弘匡 〒630-8212 奈良市春日野町160 電話 0742-22-7788	かし ほん じん ぐう 檀原神宮 宮司 久保田 昌孝 〒634-8550 橿原市久米町934 電話 0744-22-3271 F A X 0744-24-7720	大和一宮 おおみわ 三輪明神 大神神社 宮司 鈴木 寛治 奈良県桜井市三輪1422
太鼓谷稻成神社 宮司 角河 和幸 〒699-5605 鳥根県鹿足郡津和野町 電話 0856-72-0219	出雲大社『平成の大遷宮』 出雲大社 出雲國造・宮司 千家 尊祐 〒699-0701 鳥根県出雲市大社町宮内 電話 0853-53-3100 『平成の大遷宮』は平成28年までお任せ致します	因幡國一宮 う べ 宇倍神社 〒680-0151 鳥取市国府町宮下651	日前神宮 國懸神宮 宮司 紀 俊武 〒640-8322 和歌山市秋月365 電話 073-471-3730 F A X 073-474-3869	闘雞神社 宮司 長澤 好晃 〒646-0029 和歌山県田辺市東陽1-1 電話 0739-22-0155 F A X 0739-26-7033
忌部神社 宮司 門家 茂樹 〒770-0928 徳島市二軒屋町2-48	おみくじの(有)女子道社 社主 宮本 史胤 (二所山田神社 宮司) (103期神道学専攻科) 山口県周南市大字鹿野上2898	琴崎八幡宮 宮司 白石 正典 〒755-0091 山口県宇部市上宇部大小路 電話 0836-21-0008 F A X 0836-31-9618 ホームページ kotozaki.com	吉備津彦神社 宮司 守分 清身 〒701-1211 岡山市北区一宮1043 電話 086-284-0031 F A X 086-284-0041	美保神社 宮司代務者 横山 陽之 〒690-1501 鳥根県松江市美保関町 美保関 電話 0852-73-0506
天満宮 宮司 山中 隆夫 〒780-8012 高知市天神町19-20 電話 088-832-2896 F A X 088-833-7155	伊豫豆比古命神社(椿神社) 宮司 長曾我部 延昭 権宮司 長曾我部昭一郎 〒790-0934 松山市居相二丁目2番1号 電話 089-956-0321 F A X 089-956-3323	伊曾乃神社 名誉宮司 葛城 光彦 宮司 井上千賀司 〒793-0054 愛媛県西条市中野甲1649番 電話 0897-55-2142 F A X 0897-56-4762	霊峰石鎚山 石鎚神社 宮司 十亀 興美 禰 宜 曾我部英司 〒793-8555 西条市西田甲797 電話 0897-55-4044	金刀比羅宮 宮司 琴陵 容世 〒766-8501 香川県仲多度郡琴平町 電話 0877-75-2121 F A X 0877-75-2125 ホームページアドレス http://www.konpira.or.jp/
筑紫神社 筑紫の國號起源 宮司 味酒 安志 〒818-0024 福岡県筑紫野市大字原田 電話 092-926-5443	太宰府天満宮 宮司 西高辻 信良 〒818-0195 福岡県太宰府市宰府4-7-1 電話 092-922-8225 F A X 092-928-3255	高良大社 宮司 竹間 宗磨 〒839-0851 久留米市御井町1 電話 0942-43-4893	櫛田神社 宮司 阿部 憲之介 〒812-0026 福岡市博多区上川端町1-41 電話 092-291-2951 (代) F A X 092-281-7180	宇美八幡宮 宮司 伊藤 佳和 〒811-2101 福岡県粕屋郡宇美町宇美 1丁目1番1号 電話 092-932-0044 F A X 092-932-0442
宗像大社 宮司 高向 正秀	宮地嶽神社 宮司 浄見 譲 〒811-3309 福岡県福津市宮司元町7-1 電話 0940-52-0016 F A X 0940-52-1020	福岡縣護国神社 宮司 田村 豊彦 〒810-0044 福岡市中央区六本松1-1-1 電話 092-741-2555 F A X 092-751-2759	風浪宮 宮司 阿曇 史久 〒831-0016 大川市酒見726-1 電話 0944-87-2154	筥崎宮 宮司 田村 靖邦 権宮司 田村 邦明 〒812-8655 福岡市東区箱崎1-22-1 電話 092-641-7431

<p>高城神社 宮司 菖蒲 悟 〒854-0016 諫早市高城町1-5 電話 0957-22-0650 FAX 0957-22-0650</p>	<p>鎮西大社諏訪神社 宮司 池田 剛康 〒850-0006 長崎市上西山町18-15 電話 095-824-0445 HP : http://www.osuwasan.jp</p>	<p>祐徳稻荷神社 宮司 鍋島 朝倫 〒849-1321 鹿島市古枝 電話 0954-62-2151 FAX 0954-62-2153</p>	<p>佐嘉神社 宮司 草場 昭司 〒840-0831 佐賀市松原2-10-43 電話 0952-24-9195 FAX 0952-24-9196</p>	<p>唐津神社 宮司 戸川 忠俊 禰宜 戸川 健士 〒847-0013 唐津市南城内3-13 電話 0955-72-2264 FAX 0955-72-5029</p>
<p>今山八幡宮 名誉宮司 岩切 重信 宮司 伊藤 俊郁 〒882-0055 延岡市山下町1丁目3875 電話 0982-21-4525 FAX 0982-21-3250</p>	<p>八幡朝見神社 宮司 神 日出男 〒874-0812 別府市朝見2丁目15-19 電話 0977-23-1408 FAX 0977-22-7598</p>	<p>春日神社 宮司 宮本 隆之 〒870-0031 大分市勢家町4丁目6番87号 電話 097-532-5638 FAX 097-532-5473</p>	<p>宇佐神宮 宮司 穴井 伸久 〒872-0102 宇佐市大字南宇佐2859番地 電話 0978-37-0001 FAX 0978-37-2748</p>	<p>藤崎八幡宮 宮司 岩下 忠佳 熊本市中央区井川淵町3-1</p>
<p>大隅國一之宮鹿兒島神宮 宮司 川上 親昌 〒899-5116 鹿兒島県霧島市隼人町内2496-1 電話 0995-42-0020</p>	<p>鹿兒島縣護國神社 宮司 野村 浩平 〒890-0014 鹿兒島市草牟田2-60-7 電話 099-226-7030</p>	<p>宮崎神宮 宮司 杉田 秀清 〒880-0053 宮崎市神宮2-4-1 電話 0985-27-4004(代) FAX 0985-27-4030</p>	<p>島津莊總鎮守神柱宮 宮司 前田 瑞国 〒885-0025 宮崎県都城市前田町1417-1 電話 0986-23-1395</p>	<p>鵜戸神宮 宮司 本部 雅裕 〒887-0101 宮崎県日南市大字宮浦3232 電話 0987-29-1001</p>
<p>学校法人中延学園(朋優学院高等学校) 理事長 佐藤 早苗(66期) 〒140-8608 品川区西大井6-1-23 電話 03-3784-2131~4</p>	<p>学校法人 豊泉幼稚園 理事長・園長 佐藤 直人 〒252-0321 相模原市南区相模台2-9-4 電話 042-744-1539 FAX 042-744-1550 URL: http://www.hosen-kinder.ac.jp/</p>	<p>「院友女性の会」 会長 佐藤 綾子(57期) 事務局 〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷3-15-16 電話 048-962-6365 FAX 048-967-1218</p>	<p>照國神社 宮司 島津 修久 〒892-0841 鹿兒島市照國町19-35 電話 099-222-1820 FAX 099-226-6650</p>	<p>霧島神宮 宮司 慶光院 利致 〒899-4201 鹿兒島県霧島市霧島田口2608-5 電話 0995-57-0001 FAX 0995-57-1990</p>
<p>株式会社マツヒロ 代表取締役 廣井武司(71政) 専務取締役 木村公成(92経) 〒108-0074 港区高輪1-5-8 電話 03-3441-1123(代) FAX 03-5798-5848</p>	<p>株式会社 トップコート 代表取締役 植松 正(79経) 〒225-0013 横浜市青葉区荏田町231-1-422 電話 045-914-7801 FAX 045-911-7810</p>	<p>株式会社 アルク 相談役 齋藤 大武(76期) 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 電話 03-5360-8010 FAX 03-5360-8020</p>	<p>学校法人 若松学園 小清水幼稚園 理事長 若松 照継 〒099-3622 北海道斜里郡小清水町21-2 電話 0152-62-2607 FAX 0152-62-2884</p>	<p>学校法人 沼田学園 筑波保育医療専門学校 筑波総合福祉専門学校 71期政経卒 理事長・校長 沼田 義雄 〒300-0031 茨城県土浦市東崎町8-5 電話 029-821-2264 FAX 029-821-1326</p>
<p>國學院大學瑞玉OB会 会長 鎌田 紀彦(71期) 副会長 永田 忠以(74期) 副会長 尾崎 忠磨(68期) 副会長 澤井 隆男(81期) 副会長 石川 正人(83期) 〒123-0872 東京都足立区江北2-43-8 江北水川神社社務所内</p>	<p>國學院大學生活協同組合 理事長 紺井 博則 専務理事 奥山 政和(75経) 〒150-8440 渋谷区東4-10-28 電話・FAX 03-5466-0165 URL http://www.kgucoop.or.jp</p>	<p>＝創部122周年＝ 國學院大學 剣道部剣友会 会長・師範 鎌田 吉郎 総監督 林田 光弘 監督 村石 浩行 〒225-0003 横浜市青葉区新石川3-31-1 國學院大學スポーツ学寮内</p>	<p>國學院大學久我山 中学高等学校同窓会 久我山会 http://www.kugayamakai.com</p>	<p>箱根駅伝5年連続9回目出場！ 皆様の変わらぬご支援・ご声援をお願いします。 國學院大學駅伝神職支援会 会長 古屋 眞孝(55期) (甲斐國一宮浅間神社名誉宮司) 事務局 山梨県笛吹市一宮町一ノ宮1661-1 電話 0553-47-4554</p>
<p>宗教法人 神道大教 〒106-0031 港区西麻布4-9-2 電話 03-3407-0524 FAX 03-3407-5655</p>	<p>神前拳式専門店 三々九度 (代表) 曾川 博之 〒605-0001 京都市東山区二町目52-103 電話 075-762-0218 FAX 075-762-0217</p>	<p>三和法律特許事務所 弁護士 秋元 善行(86法) 〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-21 京橋NSビル3F 電話 03-3563-0295 FAX 03-3563-0297 e-mail yoshiyuki-a@mue.biglobe.ne.jp</p>	<p>河原崎弘法律事務所 〒105-0001 港区虎ノ門3-18-12-301 電話 03-3431-7161 http://www.asahi-net.or.jp/~zi3h-kwrz/</p>	<p>薩摩琵琶 晴風会 〒165-0034 中野区大和町1-44-10 会長 山下 晴楓 TEL/FAX (03) 3338-0855 E-mail : y-seifuu@orion.ocn.ne.jp URL : http://www.satumabiwa.com 広報部 75期 金子千草 TEL/FAX (045) 543-0329</p>
<p>緑豊かな田舎から お茶の間に 日川の完熟桃、完熟葡萄をお届けします 宮本農園 宮本 忠彦(83経) 〒405-0022 山梨県山梨市上栗原863 TEL 0553-22-1866 FAX 0553-22-2027 資料送ります。</p>	<p>NPO：特定非営利活動法人 伝統文化と新しい文明の研究機構 「にっぽん文明研究所」 代表 奈良 泰秀(69期文) 〒222-0034 横浜市港北区岸根町681 tel 045-481-9361 fax 045-491-7461 http://nippon-bunmei.jp</p>	<p>瀬戸装束店 (代表) 山下 裕 〒164-0001 東京都中野区中野3丁目10-5 電話 03-3381-4927 FAX 03-3381-4927</p>	<p>伸和印刷株式会社 代表取締役 仲川 和伸(80期) 〒110-0016 台東区台東1丁目13番6号 電話 03-3833-5651(代) FAX 03-3831-0994</p>	<p>心〇界 石井 岩重(70期) 石井 岩光(98期) 石井 敬子(100期) 石井 岩城(110期) 新妻 弘康 江川 慎一(98期) 〒105-0014 東京都港区芝3-18-2 電話 03-3451-4920 FAX 03-3457-0303</p>
<p>裏千家名誉師範 大橋 純子 〒185-0035 国分寺市西町3-27-4 電話 042-572-8650</p>	<p>(宗)神道新教神宮並びに 椿森神社祭主兼瑞穂大学院院長 及び亀山神宮合祀祭主 國學院大學院友學術振興会會員 祭主 雲丹亀 五郎 〒151-0062 渋谷区元代々木町25-12 電話 03-3468-5967</p>	<p>表千家 新井さきほ(62文) 〒352-0034 新座市野寺3-2-6</p>	<p>(有)ケイメイドインターナショナル 代表取締役 岡澤 研太 〒111-0051 台東区蔵前4-14-4 電話 03-5829-9161 FAX 03-5829-9165 http://www.k-made.jp</p>	<p>明治神宮 結婚式場 明治記念館 〒107-8507 港区元赤坂2-2-23 電話 03-3043-1171(大代表)</p>
<p>国際問題研究会OB会 真野 博(中崎)(61期・本会参与) 〒299-3223 千葉県大網白里市南横川2106 TEL・FAX 0475-72-5686</p>	<p>美術刀剣鑑定・研磨処 重要無形文化財保持者 本阿彌 光洲(70史) 〒145-0064 大田区上池台2-10-17 電話 03-3727-8119 FAX 03-5734-0452</p>	<p>船田 君子(67文・本会参与) 〒120-0044 足立区千住緑町2-10-19 電話 03-3881-8210</p>	<p>日本舞踊 花川流 六代目 花川 梅朝(100文) 〒111-0052 台東区柳橋1-10-5 電話 03-3851-8561 FAX 03-3851-5337</p>	<p>明治神宮名誉宮司 一般財団法人國學院大學院友会顧問 外山勝志(64宗) 〒151-8557 渋谷区代々木神園町1-1 電話 03-3379-5511</p>
<p>祝電サービス実施中！ 本会では、結婚される院友の方々へ祝電をお贈りしております。ぜひご利用ください。 ★お申し込み方法★ ①申込者のお名前(ふりがな付き)、ご住所、電話番号、卒業期 ②結婚される方のお名前(ふりがな付き)、ご住所、電話番号、卒業期 ※院友のご家族の場合は続柄(一親等以内) ③結婚式の日時 ④お届け先(〒、住所、電話番号、会場名/ふりがな付き) ⑤新居の住所、電話番号 以上を正確に明記の上、ハガキ、FAXまたはメールで一週間前までにお申し込みください。 ★お申し込み先★ 國學院大學院友会 〒150-0011 東京都渋谷区東4-12-8 TEL03-3400-7781 FAX03-3400-7996 電報サービス係宛 メールアドレス：inyuukai@kokugakuin.or.jp</p> <p>國學院大學 院友神職会 会長 宮西 惟道 副会長 千家 尊祐 同 吉田 茂穂 事務局 〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1 明治神宮社務所内 電話 03-3379-5511(代) FAX 03-3379-5519</p> <p>國學院大學 若木育成会 会長 佐野 睦仁 副会長 高島佳代子 同 三竹 俊彦 國學院大學総務部校友課内 電話 03-5466-0131 FAX 03-5466-0185</p> <p>鶴岡八幡宮宮司 一般財団法人國學院大學院友会会長 吉田茂穂(73政・74神専攻) 〒248-8588 鎌倉市雪ノ下2-1-31 電話 0467-22-0315 小唄・端唄 若宮流 若宮三千代(家元)(82期文 中西三千代) 〒357-0037 飯能市稲荷町14-16 TEL・FAX 042-972-3305</p>				

お国自慢 支部自慢

北から南から

東京都 北多摩支部



◎支部長：津戸 最
(つと・まさる) (65文)

◎事務局：府中市宮町
三一

大國魂神社
藤野正開(87神)

◎四二一三六六一
二一三〇

ご活躍の都議四氏

我が北多摩支部では、支部幹事をお務め頂く役員の中に、東京都議会議員として活躍されている方が四名いらっしゃいます。



「北多摩第一(東村山市・東大和市・武蔵村山市)」選出
北久保眞道幹事(きたくほ・まさみち) (85経)



「西東京市」選出
山田忠昭幹事(やまだ・ただあき) (79経)



「府中市」選出
鈴木錦治幹事(すずき・きんじ) (87経)



「北多摩第三(調布市・狛江市)」選出
栗山欽行幹事(くりやま・よしゆき) (91経)

神奈川県 支部



◎支部長：吉田 茂穂
(よしだ・しげほ) (73)

◎事務局：鎌倉市雪ノ下
二一―一三二

鶴岡八幡宮
佐伯禎國(10神専攻)

◎四六七二二―
〇三一五

地元愛を胸に

神奈川県横浜市に本社を構えるタカナシ乳業は、牛乳乳製品の製造をしています。また東西の松田町寄にある神奈川県水産林において自然保護活動も進めており、今回紹介する渥美昌彦氏(92法)は、三十年の長きに亘り活動に熱い思いを注ぎ、貢献されている方です。



渥美昌彦さん

また地元選手では神輿保存会、弓道協会に所属し、賑わいあるお祭りや地域スポーツ振興にも貢献されています。

渥美さんは卒業後、タカナシ乳業(タカナシ販売)に入社され、横浜・東京と各地の営業所に勤務し、その豊かな企画力・営業力を基に広告宣伝や営業担当として活躍されております。

谷口征司(113神) 記

新潟県 支部



◎支部長：武田 英徳
(たけだ・ひでのり) (80文)

◎事務局：新発田市豊町
三一―七四八
青山洋一(107文) 2
110博前文

◎二五四―二二―
三八八八

八海山の城内口に鎮座する八海神社で禰宜を務める村山隆家(むらやま・たかいえ)です。「八海会館」と呼ばれている神社の社務所は参拝者の休憩所を兼ねていて、春から秋にかけては「八海山手打ちそば」をお召し上がりいただけます。

このそばは、昔からこの地方に受け継がれている、いわゆる田舎そばの系統であり、布海苔の中に山ごぼうの葉を混ぜ込んでシコシコ感を出すのが特徴です。冬場はスキ―客をお迎えする民宿に



村山隆家さん

なりますので、そば屋の方はお休みします。私が物心つく頃には、わが家では神社に奉仕する神主の仕事と、参拝者をもてなすそば屋の経営とが、すっかり一体化していました。私の祖父もよく「神社があつてそば屋が賑わう、そば屋があつて神社も賑わう」と言っていました。

大学を卒業し、今はこうして八海山を眺めながら過ごしていることを嬉しく思っています。私が思うに、八海山の存在は日本人における富士山のようなもので、今も昔も地元の人々の心の故郷なのだと思います。「八海山が笑っている」というように、地元の人には言いますが、山の顔ともいいますが、ゆるやかな山のような感じが笑っている山の模様があの山が笑っている、おいらの顔見て笑ってる」という

歌詞があります。地元の人はこの山を見上げてホッとしたり、励まされたりしてきたのでしよう。そうした自然に対する親しみや畏敬の念の延長として、神社におけるのだと思います。八海神社での奉仕、この八海会館での接客・営業をはじめ、地元での様々な活動や、地域のみなさんとのふれ合いを通して、いろいろな経験をさせてもらっているところ



学生時代は卓球部に所属

私は在学中に卓球部で活動をしていました。高校時代の恩師である顧問の先生や先輩にも院友の方がおり、以前から國學院大学を身近に感じていました。卓球部では学生連盟に所属し、インターカレッジや全日本学生卓球選手権大会の開催や理事会の運営に携わらせていただきました。学生や教授だけではなく、連盟の理事の方々や全国の卓球連盟の方々との出会いや、卓球部の監督、部員の仲間との多くの経験は今の私の財産となっています。社会人になってからは、学生時代の仲間と会う機会は減ってしまいましたが、会えば当時に立ち返り、思い出話に花が咲きます。



「ゆめつづり」のゆったりとしたロビー

旅館で働いています。「庄川温泉風味道座敷ゆめつづり」は庄川が流れる砺波平野の温泉宿です。畳敷きの館内は素足に心地良く、旅の疲れを癒してくれれます。白海老やホタルイカ、寒鯛といった富山の海の幸は毎朝、市場へ向き見極めるので、鮮度は折り紙つきです。富山は来年三月に北陸新幹線の開業を控えており、大変盛り上がりつつあります。東京・富山間が二時間八分で移動でき、関東方面の方々も富山にもたくさん訪れていただければいいかと思っております。院友の皆様におかれましては、この機会にぜひ富山にお越しください。小西正洋(117経) 記

私は、小学五年生の時に父が急逝し、以来老骨に鞭打って宮司職に復帰した祖父と、すぐさま神職資格と車の運転免許を取得した母に育ててもらったのだが、その祖父も大学四年の途中で亡くなり、卒業と同時に帰郷し宮司に就任してより早や

また、平成三年より保護司も引き受けることになったが、十年たつて今度は民生委員と兼任となったので、保護司の方は辞退させてもらった。その他、六十五歳以上の金沢市民を対象とした生涯学習の場である高砂の編纂に携わるなど、便利屋として地域に関わっている今日この頃である。田近章嗣(88神) 記

長野県 支部



◎支部長：佐々木 章
(ささき・あきら) (79)

◎事務局：長野市安茂里
七九五六
齋藤英之(95神・97博前神)

◎二六―二二三―
七八八〇

熊谷邦千加さん(くまがひ・くにちか) (91文)は、現在、信州大学教育学部附属松本中学校副校長という立場で、長野県の教育をリードしております。南アルプスを仰ぐ



熊谷邦千加さん

初任校は、長野市立柳町中学校で、様々な課題を抱えた千人を超える生徒たちと常に真摯に向きあう姿が印象的でした。また、五年連続研究授業

飯田市に生まれ、飯田高校卒業後、日本文学科入学。岡野弘彦、吹野安、中島環治、中野孝次の各先生に学び、野村純一先生に卒論指導をいただいたこと、フイエール・コイル混声合唱団活動で充実の日々を過ごし、創立百周年記念行事で歌う機会にも恵まれたことを懐かしそうに話してくれました。

私は、同郷でもあり、高校大学とも同窓という縁で親しく学ばせていただきました。先生が転任していった午後、いつも車をとめてあった場所に「先生ありがとう」と小石で書かれておりました。その後、僻地校、研究校、信大附属松本中、県教委指導主事、主任・主幹指導主事を歴任し、現職。「教職の國學院」のEースとして活躍中の先生は、わが支部の宝です。佐々木章(79史) 記

石川県 支部



◎支部長：河崎 正幸
(かわさき・まさゆき) (87神)

◎事務局：加賀市山中温泉
白山町一―二九
山下裕嗣(94法・95神専攻)

◎七六一―七八―
〇六九四

三十四年となる。還暦まであと三年という年になったが、今日まで「敬神生活の綱領」にあるように、「世のため人のために奉仕し」を実践するかのよう日々をおくっている。



田近章嗣さんとご子息の規景さん(119神文)

また、平成三年より保護司も引き受けることになったが、十年たつて今度は民生委員と兼任となったので、保護司の方は辞退させてもらった。その他、六十五歳以上の金沢市民を対象とした生涯学習の場である高砂の編纂に携わるなど、便利屋として地域に関わっている今日この頃である。田近章嗣(88神) 記

岐阜県支部



◎支部長：水野 一
(みずの・はじめ) / 66

◎事務局：岐阜市青柳町六―一七
吉田 勉 (66文)
◎五八―二五一―〇八六六

我が支部の自慢

院友森家代々の「千代保稲荷神社」通称「おちよぼさん」と呼ばれ親しまれている「千代保稲荷神社」を紹介し、岐阜県海津市平田町に在り、日本三大稲荷の一つとしても知られ、年間二百二十万人余

静岡県 東部支部



◎支部長：秋津 温
(あきつ・おん) / 85文

◎事務局：三島市大宮町二―一―一五
三嶋大社
白岩正次 (109神專攻)
◎五五―九九七五―〇一七二

富士山資料館での仕事

教職を定年退職後、裾野市立富士山資料館に勤務しています。この資料館は昭和五十三年に設立された博物館類似施設で、富士に棲む動植物・富士の成り立ち・富士山信仰に関係した展示や、江戸末期・昭和期の生活、農耕用具が展示されています。

の参拝者で賑わいます。

由来は、平安時代源義家の六男義隆が分家となり、義家から、「先祖の御霊を千代に保て」と霊聖と共に森姓と宝剣、義家の肖像画を賜り、この霊聖を文明年間に森八海が当地に祀ったのが始まりと伝えます。開祖から現在二十一代目の宮司までを森家が勤め、二十代宮司は、森 健 (84神、昨年逝去)、現在二十一代目宮司は、森 康 (91神專攻) です。



森 康さん

ご祭神は大祖大神、稲荷大神、祖神。商売繁盛、縁結び、合格祈願などに

ご利益があります。境内の入り口の門前町には、お供え物を売る店があり、参拝者はローソクを灯し、稲藁で結んだ三角や四角の油揚げとお酒をお供えします。普通の神社では見られない参拝風景が見られます。参道には約百店が軒を連ね、縁起物のほか草餅、川魚料理 (鯉・鮭・モロコ) の甘露煮・鮎味噌など、串カツと土手煮、漬物などが名物で参拝者で店は繁盛しています。

海津市は木曾三川宝曆の治水跡で知られ、東北楽天の捕手で、院友鳴基宏氏の出生地でもあります。新幹線岐阜羽島駅、名神高速道路、養老鉄道などでご来岐いただき、ぜひご利益に与っていただきたいと思えます。

山口登山道があり、一年より脚光を浴びています。須山口登山道は文明年間の聖護院門跡の記録に見え、江戸時代は富士山世界文化遺産の構成遺産である須山浅間神社・須山より登山道・石室等が被害を受け、復興には多大の労力が必要でした。ここには京都の神祇管領長上家 (吉田家) より許状を受けた御師十二人がおり、登山者の世話にあたっていました。御師の中で中心になっていたのが渡邊家、祝という地位について

静岡県 中部支部



◎支部長：天野 忍
(あまの・しのぶ) / 80

◎事務局：静岡市駿河区根古屋三九〇
久能山東照宮
仁科泰彦 (89神2)
◎五〇四―一三三―二四三八

林業で地域の活性化に挑む小泉氏

今回紹介する小泉住雄氏 (88) は、静岡市葵区梅ヶ島地区は、古くは金山で賑わい、現在はひなびた山間の温泉地として知られる。かつて、林業が盛んで、見事に植林された杉や檜が山々を



重機による取材作業に勤む

覆っている。氏は、父の林業を受け継いで三十年、現在、地元の自治会連合会長を務め、神楽などの伝統文化にも関心をもち、熱心にその保存活動に取り組みされている。十月の秋晴れの日、梅ヶ島より下流の、葵区大河内東木の本材伐採現場を訪ねた。

わが国は、おけるわさび栽培の発祥の地として知られ、標高六百五十メートルを数える険しい山の中腹に民家が点在する。伐採したばかりの現場は、檜の香りで

場を訪ねた。有東木は、わが国におけるわさび栽培の発祥の地として知られ、標高六百五十メートルを数える険しい山の中腹に民家が点在する。伐採したばかりの現場は、檜の香りで

愛知県支部



◎支部長：野中 昌介
(のなか・まさすけ) / 72文

◎事務局：名古屋市中区瑞穂区高田町三二二八
名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校
水野敦之 (96文)
◎五二―一八五三―〇〇五〇

市川さんが研究発表

第四十六回となる「全国高等学校国語教育研究連合会 研究大会」が、平成二十五年十一月十四日・十五日の二日間、愛知県で行われました。初日は記念講演を含む全体会がウインクあいちで行われ、二日目は県内十



市川庸輔さん

この愛知大会で、市川庸輔さん (110) 博前文・114 博後文 / 名古屋経済大学市川高等学

会場で行われた。全国各県からかなりの人数が参加するこの大会での公開授業は、まさに「愛知の顔」「愛知代表」としての授業です。

滋賀県支部



◎支部長：岳 尋幸
(おか・ひろゆき) / 66

◎事務局：彦根市尾末町一―五九
滋賀県護国神社
山本賢司 (78史・79神專攻)
◎七四九―二二―〇八二二

「小幡でこ」

滋賀県湖東地方、現在は東近江市となった五箇荘小幡町が発祥の土人形である。五箇荘は古く「ごかのしよう」と呼ばれ多くの近江商人を排出した地である。創業は享保元年 (一七一六)、細居安兵衛が飛脚に勤む道中、山賊等の損害に苦しみ、やむなく転業したのが始

静岡県 西部支部



◎支部長：河合 宏昭
(かわい・ひろあき) / 77法

◎事務局：浜松市天竜区春野町領家八四一
秋葉山本宮秋葉神社
原山剛一 (106神)
◎五三―九八五―〇一一

異色の院友

教師になろうとして、文学部の文学科に入学。高校の教師になって、野球部の監督になるのが夢であった。



伊藤孝嘉さん

これが教師になれるはずがない。四年の後半は、単位不足を補うために、必死で勉強した。

卒業後は、東京オリピックの時代。新幹線が開通したり、日本の激動の始まりの時期でもあった。また就職難の年であったが、何とか就職した。

小幡人形九代目当主 細居源吾
住所：東近江市五箇荘小幡町八〇八
電話：〇七四八―四八―一四〇七五



「小幡でこ」が郵便切手に (平成4年発行)



三重県支部
 ◎支部長：塚原 徳生
 (つかはら・とくお)
 87神専攻
 ◎事務局：伊勢市宇治館町一
 神宮司序
 孫福弘明(91神)
 ☎〇五九六―二四―
 一一一

**式年遷宮が
よくわかる
「せんぐう館」**
 伊勢の神宮では現在、六十二回目の式年遷宮が行われています。二十一年に一度、新しい社殿と御装束神宝を大御神に奉り、新宮へお遷り願う我が国最大の祭典の中核は、皇大神宮と豊受大神宮の遷御の儀です。一昨年前の



大阪府支部
 ◎支部長：若月 直
 (わかつき・ただし)
 ◎事務局：大阪市北区天神橋二―一―八
 大阪天満宮
 米村昌彦(92神専攻)
 ☎〇六―六三三―
 〇〇二五

**関西実業院友会の
発展的解散について**
 かつて、大阪は天下の台所といわれ、日本の津々浦々の物資が大量に集散し、股賑を極めました。食いは美味、酒は伏見や灘のもの。摂津、難波の呉春、天野は隠れ



外宮の神域内につくられたせんぐう館 ©せんぐう館



外宮正殿原寸大模型 ©せんぐう館

遷御には、四十七名の院友の神宮職員が奉仕致しました。続いて本年三月まで、十二所の別宮の式年遷宮が順次執り行われています。
 式年遷宮が、千三百年にわたって継続されたことで、数多くの事柄が今日に伝えられてきました。それらはなかなか目にするのが叶いません。

そこで、大切な心と技を紹介し将来に伝えるため、遷宮付帯事業として「せんぐう館」が、外宮の神域内に建設されました。展示は目に見えない事柄の意義を解りやすく伝えるように工夫を凝らしてあります。社殿や御装束神宝類は、神々への捧げ物で、一般公開はできませんので、本物とまっ

たく同じ造り方で社殿を再現した原寸大の側面模型と、精巧な二十分の一の模型、御装束神宝類は本物と同じ製作者の手による工程見本品を展示しています。
 初代館長は院友の小堀邦夫(85神専攻)、主幹は石垣仁久(95法・97博前神)が務め、開館以来百五十万人の方にお越し

いただきました。
 また昨年三月天皇皇后両陛下の御視察の栄に浴しました。
 伊勢の神宮へ参拝の際は、外宮から内宮へ、そして外宮では先ずせんぐう館へお立ち寄りください。お待ちしております。
 石垣仁久
 (95法・97博前神) 記

銘酒。今でも「通」に愛飲されております。物資も人材も豊かな上方の文化は、関西地区の経済を大いに発展させてきました。
 國學院大學院友会大阪府支部は、この背景の下に三部会が設立され、活動が盛況になるに従って、関西地区一円に拡大した「関西実業院友会」が出来、研究会、親睦会なども盛大に行なってきました。

しかし、時代の趨勢は「泡」が弾き飛び、リーマンショックが追い打ちをかけて以来、経済活動は不況に陥り、前方の見えない状態が現在も続いております。その煽りを受けて、関西一円の有志が活躍していた「関西実業院友会」は活動の不振低迷に陥る事態となっ

てしまいました。
 この現象を回復すべく、役員会は尽力いたしましたが、はかばかしい思案もなく、やむなく「関西実業院友会」の存続の可否の意見集約のアンケートを求めた結果を付帯議題として、平成二十五年七月六日に「総会」を開催しました。
 総会での結果は、アンケートの結果と総会出席者の大多数の決議によって、「関西実業院友会解散」が決定となりました。
 なお、残務処理は役員会に諮り、「決算残金」は全て「院友会本部」に寄付する」とし、完結いたしました。

以後、会員は大阪府支部会員として、鋭意活動しております。
 今野隆弘(65政) 記



院友経済会
 ◎会長：大塚 勤
 (おおつか・つとむ)
 ◎事務局：渋谷区東四―一―〇―二八
 國學院大學
 総合企画部
 橋本憲市郎(88経)
 ☎〇三―五四六―
 〇八〇九

**日本を学び、
世界を知る**
 私は卒業後、米国の経営大学院を修了し、米国で公認会計士の資格を取得し、会計監査に従事した後、現在は世界四大会計事務所の一つである

関根 俊さん
 EYでマネージング・ディレクター/パートナーとしてM&A(企業の合併・買収)関連の仕事をしていきます。日本企業が海外企業を買収する、また海外企業が日本企業を買収するクロスボーダー案件において、対象会社の財務調査や投資方法等

きました。グローバリティ・ビジネスの基本は自己を正しく認識し、他者を理解することだと痛感しています。海外では社会的・経済的・文化的な環境が異なるため、日本で成功している「やり方」が必ずしも成功するとは限りません。
 國學院で高校を含め七年間学ばせていただきましたが、「日本を学び、世界を知る」という國學院大学の建学の精神が私の行動の指針となっています。今後も自ら日本のグローバル化に貢献するとともに、母校においても日本のグローバル化をリードし、世界に貢献できる人材の育成を続けていきたい、と考えています。
 関根 俊(96経) 記

「院友経済会」の活動は、役員会に諮り、「決算残金」は全て「院友会本部」に寄付する」とし、完結いたしました。

関根 俊(96経) 記

事務局からのご報告
 前任の松田稔先生に引き続き、本年度より事務局を担当することになりました。ご挨拶に代えまして、院友学術振興会についてご紹介させていただきます。
 本会は、國學院大學で学位を取得した研究者で、ご希望の方を会員として構成して、随時会員を募集しております。会

院友学術振興会
 ◎会長：菅野 雅雄
 (すがの・まさお/65)
 文2・68修文・71博文
 ◎事務局：渋谷区東四―十二―八院友会気付付
 山崎かおり(104文・106博前文・山博後文)
 ☎〇三―三四〇―
 七七八一(院友会)

平成26年度 國學院大學院友学術振興会 公開講座 「國學院の古典」のご案内

國學院大學で学位を得た先生方の会である「院友学術振興会」が、古事記・万葉集・源氏物語・国語学・神道学・中国文学と、様々な分野から【國學院の古典】とは何か、を講義します。今年で18回目です。
 ※それぞれが独立した講座です。

平成27年1月	13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)	17日(土)
13:00 から 14:30	古事記 教物の神話 國學院大學兼任講師 山崎かおり氏	万葉集 万葉集編纂構想論 國學院大學兼任講師 城崎陽子氏	中国文学 韓愈の儒学尊崇とその文学 元國學院大學教授 松田稔氏	国語学 古代人と動物の鳴き声―内はホウホウ外はスプー― 首都大学東京准教授 浅川哲也氏	神道学 寛克彦の世界―神道古典からひもとく― 広島商船高等専門学校非常勤講師 中道豪一氏
14:50 から 16:20	源氏物語 源氏物語と漢詩文 國學院大學教授 秋澤互氏	古事記 神武天皇論 院友学術振興会会長 菅野雅雄氏	万葉集 防人歌を読みなおす―Part2― 立正大学名誉教授 近藤信義氏	源氏物語 登場人物たちの名前 國學院大學栃木短期大学特任教授 林田孝和氏	源氏物語 源氏物語の表現 國學院大學教授 針本正行氏

□講演会場：院友会館3階 大会議室(國學院大學に隣接…国際交流センター隣)
 □定員：75名(各日)
 □受講料：1日/1,000円(税込)
 □主催・共催：國學院大學院友学術振興会(協力団体) 一般財団法人國學院大學院友会
 □後援：渋谷区・渋谷区教育委員会・國學院大學
 □備考：毎回多くの皆様にご受講いただいております。それぞれが、独立した講座です。
 ◎なお、大変恐縮ですが日にちによっては受付を終了する場合があります。お申込みの際はお問合せください。



昨年の講義の一コマ

◎お申込み・お問合せ先：一般財団法人國學院大學院友会
 〒150-0011 東京都渋谷区東4-12-8
 E-メール：inyuukai@kokuin.or.jp TEL：03-3400-7781/FAX：03-3400-7996

費は年額三千円です。入会ご希望の方は、本会会長もしくは事務局までご連絡ください。事務局まで一報ください。事務局まで一報ください。事務局まで一報ください。
 また、本会では十月頃、会誌「新国学(復刊)」を発行しております。本年度の六号は、論文五本、史料紹介一本、註釈二本、翻刻二本を掲載します。ご購入希望の方は、事務局の催しとしては、まず、五、六月に開催される年一回の総会(研究報告含む)があり、世代を超えた会員が親交を深めています。また、公開講座「國學院の古典」を一月に開催し、毎年ご好評をいただいております。ちなみに次回からは、通常の中国文学、古事記、万葉集、源氏物語、国語学に加え、神道学の講座が加わりました。奮ってご参加くださいませう、お願い申し上げます。



平成26年度総会。院友会館3階ロビーにて

お弁当のご用命は
ますもと 亀戸
 保存料・合成着色料を一切使わず、玉子焼きやかまぼこに至るまで割烹職人手づくりのお弁当です。
 ご注文・お問合せ **03-5609-1898**
 ◆東京23区内、市川市、浦安市は8,000円以上のご注文で無料配送いたします。
 ※世田谷区、大田区、板橋区、杉並区、練馬区は15,000円以上
 TEL 03-5609-1898 / FAX 03-5609-1897
 http://www.masumoto.co.jp bentou@masumoto.co.jp
 ■取締役 副社長 坂本 美雄 (84期)

神奈川県支部

＝報告＝

公開講演会を開催（鶴岡八幡宮） 講師に中西正幸先生をお招きして



とても興味深かった中西先生の講演会

院友会神奈川県支部（吉田茂穂支部長）では六月二十二日の県内「院友の集い」にあわせて「公開講演会」を鎌倉市雪ノ下の鶴岡八幡宮直会館において開催した。

この講演会は、平成八年より毎年開催されており、今年も母校より神道文化学部中西正幸教授を講師としてお招きし、会場には百名を超す聴講者が訪れた。

中西先生には「御蔭年と伊勢参詣」と題して、昨年遷御の儀が斎行された第六十二回式年遷宮の話もまじえながら、遷宮の祭事、そして中世から現代に至るまでの御蔭年の在り様をご講演頂いた。講演のテーマでもある「御蔭年（おかげどし）」

とは、古来より遷宮翌年（吉田茂穂支部長）では六月二十二日の県内「院友の集い」にあわせて「公開講演会」を鎌倉市雪ノ下の鶴岡八幡宮直会館において開催した。近世では松尾芭蕉が元禄二年（一六八九）の第四十一回遷宮で「奥の細道」から急いで戻り、「たふとさに皆押しあいぬ御遷宮」と一句詠んだことなども紹介され、聴講者もその賑わいの熱狂的な様子を想像しながら聞き入っていた。また、参拝に関する近世の指導書を引用され、伊勢参詣の道中は穢れを避けて細心の注意をはらいつつ旅を続けること、参拝に先立ち襦袢を洗い清らかな服装に改めることなど、参拝の作法・心得について

ご紹介頂き、当時の参拝に対する齋戒の意識の高さに聴講者も驚いていた。そして御蔭年には両陛下の行幸啓を仰ぐ嘉例があり、昭和天皇は昭和二十九年・四十九年に、今上天皇は平成六年・二十六年に挙行されている。この嘉例にともない国民一般の参拝も増えており、昨年（平成二十五年）の年間参拝者数が千四百二十万人を超えたことは未だ記憶に新しい。最後に中西先生は、この参拝者増加が国民の神宮崇敬の高まりに繋がるとを期待したいとして講演の結びとされた。

会場には県内院友のみならず一般参加者も多く、昨年の遷宮を機に高まる伊勢神宮への関心を寄せつつ、日本人が連綿と繋いできた重儀の大切さに深く共感していた。

支部事務局・記

鳥取県支部

＝報告＝

日本三大愚か村話のひとつ 「さじ谷ばなし」に学ぶ

「さじ谷のおやじが、背中に籠を背負い、ザル棒の先には、大きく見事なキジを二羽ぶら下げて、「カラスはいらんか、カラスはいらんか」と売り歩いてた。それを見た町の衆は、「阿呆だけ、キジをカラスと言っておる。みんな買おうて、ひともつけしたらあ」とたくらみ、ただみないな相場高まりに繋がるとを期待したいとして講演の結びとされた。

「さじ谷ばなし」は、中国山地、鳥取県東部、佐治村（現鳥取市佐治町）に伝わる鳥取市指定無形民俗文化財。日常のどこにもありそうな愚行を短い愚か話、阿呆話として語り継ぐ。発祥は室町時代とされ、百を超える話を収集。栃木県「栗山話」、福島県「南山話」とともに、日本三大愚か村話とされる。

開催にあたり、地元で保存、継承に努めている「さじ民話会」から全面的な協力を得た。会長の岡村絹江氏から、「さじ民話会」の歩みと「だんご」「蟹のふんどし」「銭はものを言う」の三話を、語り部の有本喜美

男氏からは、「キジとカラス」「尻を持ったか」「蚊帳はぐり」の三話と「さじ谷ばなし」の解説があった。「だんご」と同類の話が全国で四十県にのぼること。「さじ谷ばなし」では嫁を里や浜（海岸部）からもうらう話が多いが、他県では、逆に嫁を山間部からもうらう話もあると興味深い内容であった。

講演後のアンケートでは、「テレビで見たことがあったが、本物はやっぱりいい」「大変おだやかな語り口の中に、人間にとって重要な教訓をきちんと伝えるので、非常に受けとめやすかった」など好意的な感想があり、講演会を開催した院友会の活動に対して賛辞をいただいた。

支部総会も盛会のうち

院友会公益事業の一環として平成二十六年六月二十八日（土）十六時より、グランドホテル浜松萩西の間にて、院友会より今井亮副会長、國學院大學硬式野球部鳥山泰孝監督をお招きしての講演会並びに静岡県西部支部の総会を開催いたしました。

当日は院友や一般の方々をお招きし「指導者生活十七年、失敗と成功の舞台裏」と題してご講話いただき、鳥山監督の教え子である常葉菊川高校の高橋利和コーチも応援に駆けつけて下さいました。講話では修徳高

校、國學院大學での監督経験を基に、監督生活と家庭生活との差をなくして野球に打ち込めるようになったこと、部員一人一人を理解することで理解されるようになることなど、指導の根幹を成す基本的な理念をご教授いただくことができました。

とりわけ、「格好いいことを言うつもりはないですが、自分と人生を共にしようと思ってくれた奥さんをまず大事にしよう」として一番身近なことをしっかりとさせること、男として一番身近なことを仕事も充実する」という言葉が印象的でした。

また、講演会後に開催された総会には三十名余りの会員が出席し、前年度事業報告等並びに今年度事業計画案等の審議に加え、海瀬亮会長の名誉会長への昇任並びに河合宏昭新会長の就任をはじめ支部役員、事務局の引き継ぎ等々新体制への承認もいただき、滞りなく終了させることができました。今後も魅力ある活動を通して新たな会員と共に支部を盛り上げていきたいだけだと願っております。

前事務局長 加藤 学（100神）記



熱のこもった鳥山監督の講演

『もっと日本を学ぼう』
公益目的事業を全国で展開

平成二十六年八月三十日（土）午後一時より、鳥取市内のホテルにおいて、文化講演会「さじ谷ばなしに学ぶ」を開催した。当初、院友から徴取した支部維持会費（年一人千円）を有効に活用し、院友に支部活動をアピール。同時に、支部総会の出席者を得るために計画。役員会で、「院友だけではもったいない。ひろく県民にも公開しよう」と決定した。院友会本部に相談し、迅速な対応をいただいた。会場確保、ポスター製作、地元新聞社との折衝等、準備は短期間であったが、新



本物のはなしに魅了された来場者



鳥取の財産の保存・継承に努めている岡村会長

謹賀新年

学校法人國學院大學栃木学園
理事長 木村好成
事務局長 小藤清
〒328-8588
栃木市平井町六〇八
電話 〇二八二二二五五一

國學院大學栃木短期大学
学 長 中村幸弘
学 監 木村好成
日本文化学部長 鍛代敏雄
人間教育学部長 後藤正人

國學院大學栃木高等学校
校 長 影山博

國學院大學栃木中学校
校 長 影山博

國學院大學栃木二杉幼稚園
園 長 栗原和子

に終了し、懇親会も「さじ谷ばなし」で大いに盛り上がり、酒量もアップしました。
副支部長 山本輝美（83）経記



國大音楽部事始め

私が國大予科に入学した年は、国家的祝賀行事としての「皇紀二千六百年奉祝祭」で景気づいて...

卒業後五十年を記念しての同期会

72期文学部神道学科卒業の同期会を、平成二十六年五月二十六・二十七日、伊勢の地で開催しました。



卒業後50年。懐かし、楽しく。

東京を離れた。これまでに何回か会合は開いて来ましたが、今回は...

武蔵寮「箱根の会」開催
三鷹市下連雀にあった男子寮「武蔵寮」(昭和三十三年開寮)の九回目を...

武蔵寮「箱根の会」開催
三鷹市下連雀にあった男子寮「武蔵寮」(昭和三十三年開寮)の九回目を...



9回目の武蔵寮友会。

85期文四組クラス会
卒業以来、小グループでの繋がりはありました。...

木村先生がご他界され今年で満十五年になります。...



38年ぶりのクラス会。また集まりました。

狭い南校庭や、代々木の練場で鍛えられたが、全学合同の行軍演習には...

木村先生がご他界され今年で満十五年になります。...

木村先生がご他界され今年で満十五年になります。...

木村先生がご他界され今年で満十五年になります。...

木村先生がご他界され今年で満十五年になります。...



今年も、恩師を偲びつつ、研鑽。



今回は大学が企画する「学びへの誘い」と学生たちの企画する「若木体育祭」「若木祭」を紹介...

第10回国学院大学学びへの誘い

図書館所蔵資料を中心に、本学の所有する学術資産を公開する巡回展示「国学院大学学びへの誘い」...



10回目となる「学びへの誘い」。

「戦国・織豊期の古文書」の開催がはじまりで、以来古典籍資料を中心に、「源氏物語」「古事記」...

集、「伊勢物語」、「竹取物語」、「平家物語」... 五月晴れの下、五月十八日(日)には...

第五十三回若木体育祭

五月晴れの下、五月十八日(日)にはたまプラーザキャンパスで...



若木体育祭の一コマ

グラウンドや体育館、剣道場や柔道場会場にて、フットサル、バレーボール...

今年度のテーマは古典籍から離れ、はじめて史料を扱った「戦国・織豊期の古文書」...

十一月二十三日の勤労感謝の日近日に催されてい... 第二次再開発に伴い...

初日の十一月一日は小雨の降る生憎の天気となり... 二日間はどうか天気も落ち着き...

また屋外の演武・模擬店も、天気が落ちて... ち着いてからは多くの人...

最終日三日の百周年記念講堂での後夜祭では、三サークルが演奏の腕前...

平成二十六年度ホームカミングデー 大勢の院友が来場

平成二十六年度のホームカミングデーが、十月十八日(土)にたまプラーザキャンパスで開催...



各地の特産が揃う物産展

午前十一時三十分の受付開始とともに、多数の院友が来校...

レビの情報番組でコメントーターを務めるなど活躍する岩下氏の講演と...

同日午前立川市で行われた第九十一回東京箱根間往復大学駅伝競走...

予選通過に笑みを浮かべる陸上競技部。各学部に分かれての懇親会...

「あの日先生に会いたい」も開かれた。久々の恩師との再会や、世代を超えた院友同士の交流...



予選通過に笑みを浮かべる陸上競技部

常磐松ホールでは、昨年七月にメジャーデビューを果たした院友アコースティックデュオ「Best Partner」...



11曲を歌い上げたBest Partner



西村元希氏によるサロンコンサート

マに、懇親会、お楽しみ企画、大学マスケットキヤクター「こくびよん」の記念撮影などが行われた...

懇親会会場となったカフェラウンジ「万葉の小径」には、「写真で振り返る四年間の軌跡」として、人間開発学部1・2期生の在学期間に撮られた写真を展示...



恩師との再会

